

文部科学省

次世代の校務デジタル化推進実証事業
(生成AIの校務での活用に関する実証研究)

成果報告会

2025年3月7日



成果報告会次第

3/7(金) 14:00-16:00

※本報告会は記録のために録画させていただきます。

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 開会挨拶 | 14:00-14:05 |
| 2. 事業概要 | 14:05-14:10 |
| 3. 実証地域からの成果報告 | 14:10-15:20 |
| 4. 事業全体の成果報告 | 15:20-15:30 |
| 5. 質疑応答 | 15:30-15:55 |
| 6. 講評/閉会挨拶 | 15:55-16:00 |

1

開会挨拶

14:00-14:05

文部科学省

2

事業概要

14:05-14:10

PwCコンサルティング合同会社

事業背景・実施事項

本事業の背景

- 校務DXを通じた学校の働き方改革や教育活動の高度化の実現に当たって、生成AIを利活用することも有用と考えられる。
- 一方で、一般向けの汎用的な生成AIサービスでは成績情報等を入力することができず、利活用できる内容に限界がある。
- 適切なセキュリティを確保し、個人情報等を扱うことができる環境において、生成AIを教職員がどのように捉え、校務でどのように利活用できるかを検証する実証研究を行った。

実施事項・体制

埼玉県新座市・愛知県岩倉市・兵庫県宝塚市・沖縄県石垣市を実証地域として、域内全ての小・中学校、教育委員会が生成AIシステムを利活用できる環境を構築し実証を行った。

①環境構築

- ・ 対話型生成AIチャットボットシステムと、運用上必要となる**データ収集・整備、ネットワーク環境及びセキュリティの整備**を実施
- ・ システムの使い方等の技術的な点について教育委員会や教職員への**研修、サポート**を実施

Sky株式会社

株式会社
ベネッセコーポレーション

環境構築

埼玉県
新座市

兵庫県
宝塚市

愛知県
岩倉市

沖縄県
石垣市

②実証地域と環境開発事業者への伴走等

- ・ 教育委員会や教職員への**研修、サポート**の実施
- ・ 教育現場への生成AIの導入に際し教育委員会や学校に必要となる**制度設計の整理**
- ・ **好事例・課題の収集、取りまとめ、分析**

伴走・とりまとめ

PwCコンサルティング
合同会社

実証地域の特徴

各市の特徴

沖縄県 石垣市

- 小学校19校、中学校9校（内4校は併置校）、児童生徒数：約4,800人、教職員数：約600人
- 学習系端末：Windows・iPadOS、校務端末：Windows
- **校務系・学習系ネットワークを統合済み**
- 保護者連絡システムや統合型校務支援システム、学習eポータルの利用等による校務のクラウド化を推進
- **域内2校の学校がリーディングDX校として指定、校務において生成AI活用を進めている中で本事業に参画**

愛知県 岩倉市

- 小学校5校、中学校2校、児童生徒数：約3,400人、教職員数：約300人
- 学習系端末：iPadOS、校務端末：Windows
- 校務・学習系ネットワークは分離しており、**境界分離型のセキュリティ対策**を採用
- 統合型校務支援システムや学習eポータル等による校務のクラウド化を推進
- **教育長が主体**となって本事業を推進

埼玉県 新座市

- 小学校17校、中学校6校、児童生徒数：約13,000人、教職員数：約1,200人
- 学習系端末：Chromebook（GIGAスクール第2期はiPad）、校務端末：Windows
- **ゼロトラスト環境を整備しており校務系・学習系ネットワークを統合済み**
- **教育委員会内の複数の部署が連携しながら取組を推進**
- 全校の管理職等を対象とした生成AI利活用のアイデア創出ワークショップの実施を通じて取組を推進

兵庫県 宝塚市

- 小学校23校、中学校12校、特別支援学校1校、児童生徒数：約17,000人、教職員数：約1,200人
- 学習系端末：Windows、校務端末：Windows
- **ゼロトラスト環境を整備しており校務系・学習系ネットワークを統合済み**
- **教育委員会が各校への訪問研修**を頻繁に行い、学校におけるICT利活用を推進
- 全校の管理職等を対象とした生成AI利活用のアイデア創出ワークショップの実施を通じて取組を推進

本事業の特長

汎用的なサービスを超えた生成AIの利活用により業務効率化/高度化を実現

- ✓ これまで複数のデータや児童生徒の様子から、**教職員の勘や経験に基づいて実施してきた校務**について、各学校のデータベースに基づき生成AIを用いることで**効率的且つ客観的な実施が可能**になる。
- ✓ 汎用的な生成AIには個人情報を入力することができないため、質問する内容も回答も一般的になるが、本実証の環境では、出欠情報や成績情報、学習ログ等を読み込ませることができるため、生成AIの**回答は一人ひとりの児童生徒に特化した内容で得ることができる**。

例) クラス替え

多くの校務は・・・

これまでは児童生徒の成績や特徴、他の児童生徒との関係性等を考慮しながら、年度末に新学期のクラス分けを先生が手作業で実施している。

生成AIを利用すると・・・

児童生徒の情報がデータベース化されていれば、生成AIに条件を伝えることで、クラス分けの提案を得ることができる。

プロンプト例※)

第一小学校の5学年のクラス分けを以下の条件で提案してください。

#条件

- ・各クラスが35人以下になるように3クラスに割り振ってください
- ・名簿に記載している条件を参照し、各クラスに「ピアノ」ができる児童が1名含まれるように検討してください。
- ・佐藤さんと高橋さんは同じクラスにならないようにしてください。

※プロンプトとは、生成AIに対して利用者が入力する指示文のこと

例) 所見作成

汎用的な生成AIを用いる場合は・・・

あなたは小学校の教員です。成績が中間層くらいの小学校2年生の児童に対する所見を考えてください。文章は200文字以内をお願いします。



生成AIの回答

〇〇さんは、毎日元気に学校に来て、友達と仲良く遊んでいます。授業中も積極的に発言し、自分の考えをしっかりと伝えることができています。学習面では、少しずつ理解を深め、課題に取り組む姿勢が見られます。特に、漢字の練習や計算に取り組む姿勢はとても良いです。これからも苦手なところをあきらめずに挑戦し、自身をもって取り組んでいってください。

個人情報を参照可能な生成AIを利用すると・・・

あなたは第一小学校の教員です。2年3組の青空太郎さんの所見を考えてください。文章は200文字以内をお願いします。成績情報や学習データを参照して考えてください。



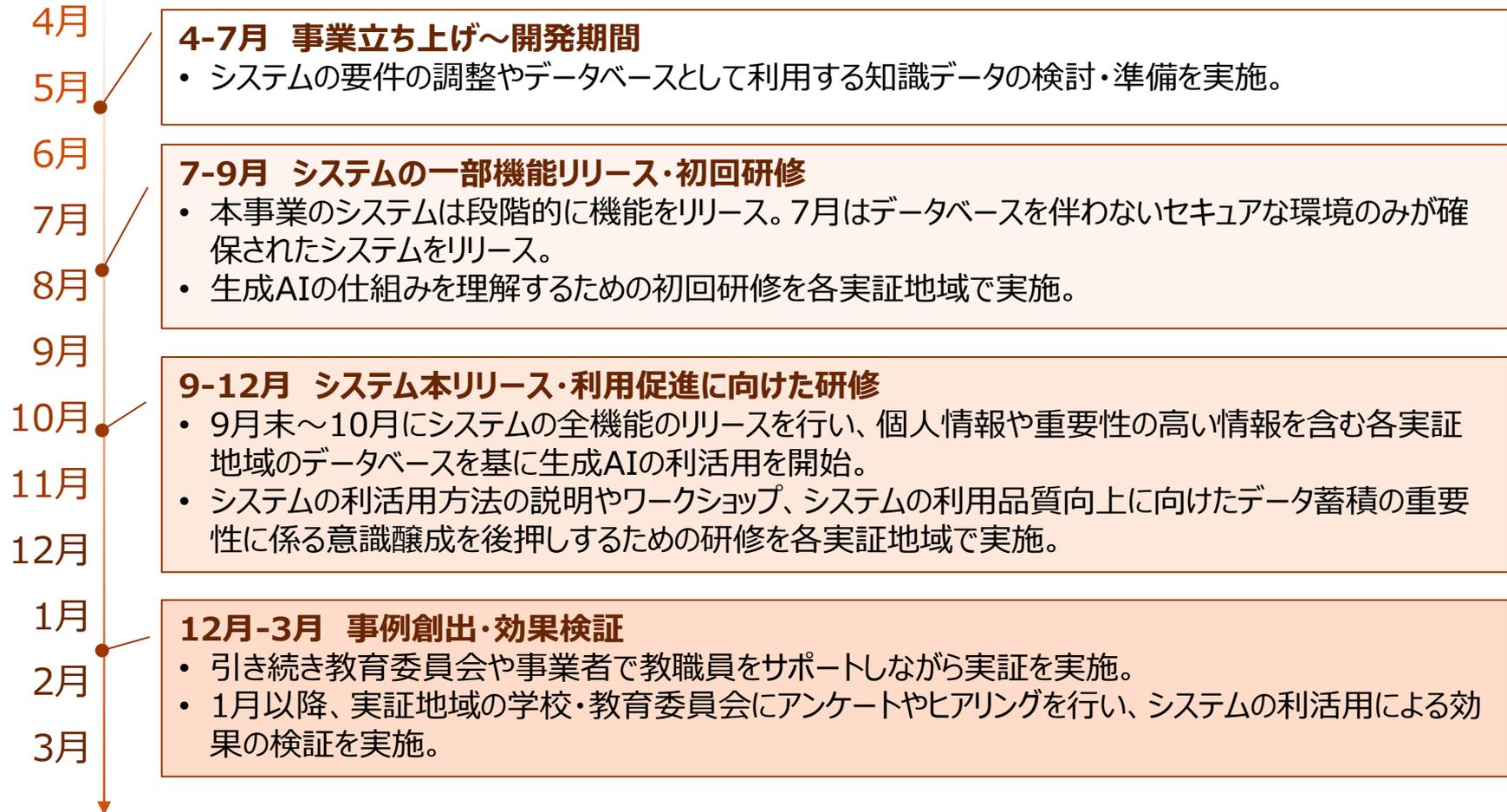
生成AIの回答

青空太郎さんは授業中、よく考えて意欲的に発表したり、話し手の方を見て最後まできちんとお話を聞いたりしています。国語の漢字の学習では、はねや止め、文字の形に気を付けて丁寧に書くことができました。算数の学習ではたし算やひき算のひつ算をとともはやく解くことができるようになりました。1学期は黒板係として毎日黒板に日付や時間割を書いています。2学期も笑顔いっぱいにご一緒してほしいと思います。

事業概要紹介

スケジュール

以下のスケジュールで事業を実施した。



3

実証地域からの成果報告
14:10-15:20

株式会社ベネッセコーポレーション
沖縄県石垣市
愛知県岩倉市

Sky株式会社
埼玉県新座市
兵庫県宝塚市

実証地域からの成果報告

株式会社ベネッセコーポレーション

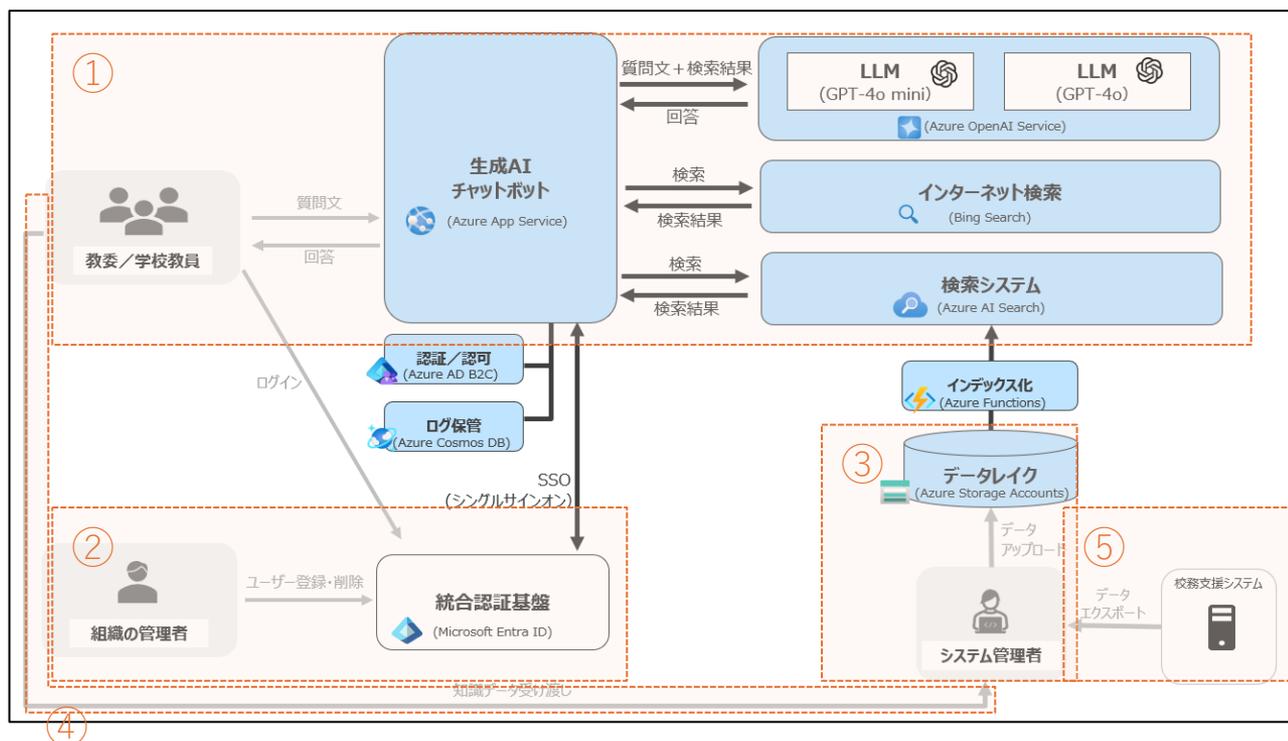
沖縄県石垣市

愛知県岩倉市

本事業で構築した
システム

システム紹介 (岩倉市・石垣市)

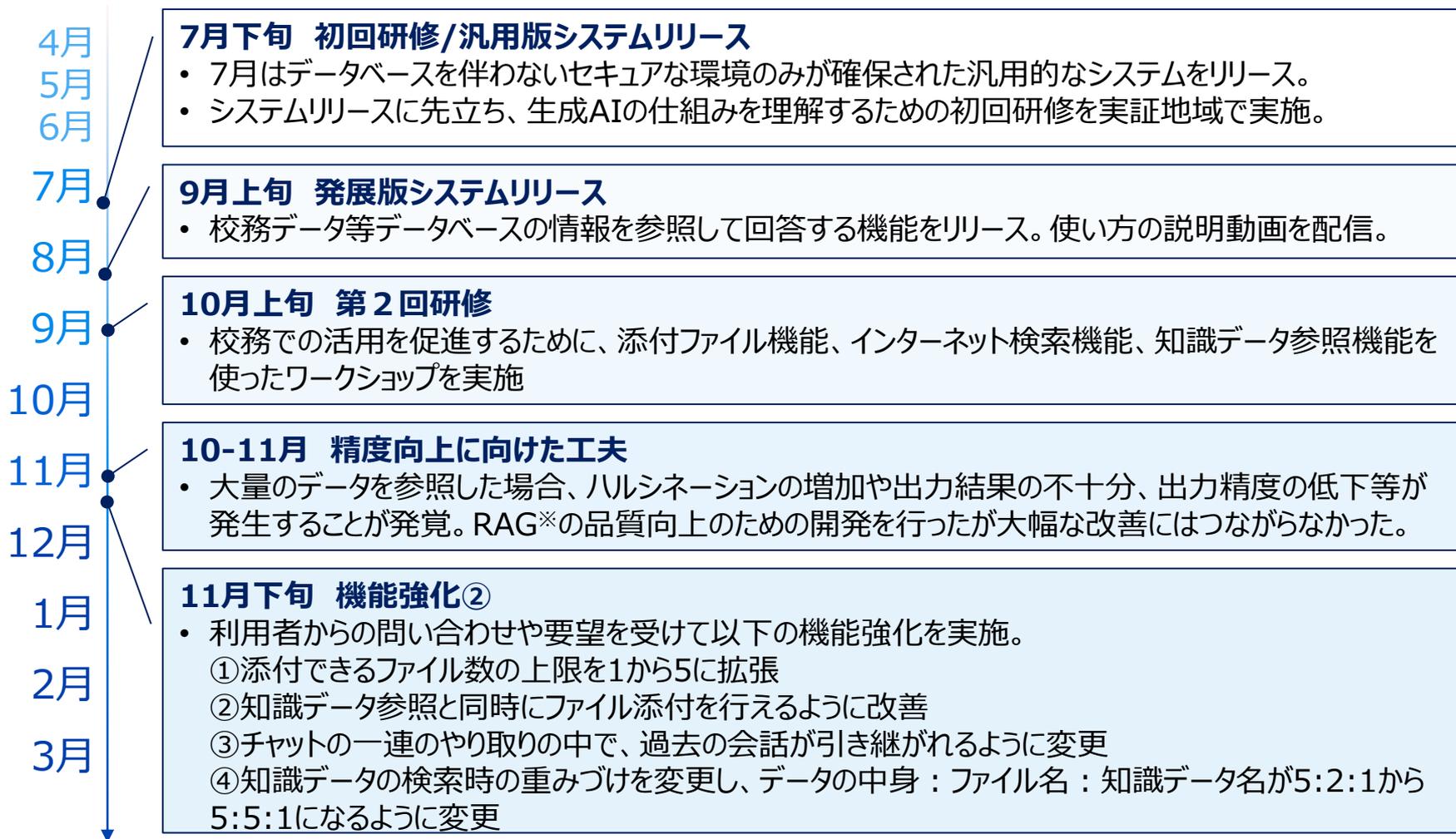
Education Chat (株式会社ベネッセコーポレーション)



- ① 利用者の質問に応じてチャットボットアプリケーションはLLM（大規模言語モデル）やインターネット、データレイク（各実証地域がデータを格納するデータベース）を検索し、質問文に対する回答を作成
- ② ユーザーの登録や削除は組織の管理者権限を保有するユーザーが実施
- ③ チャットボットアプリケーションが参照するデータレイクへのデータの格納を月次の頻度※で実施
- ④ 各学校からの知識データを事業者でデータクレンジング後に月次でデータレイクへ格納
- ⑤ 校務支援システムのデータは校務支援システム事業者経由で月次でデータレイクに格納

システム開発スケジュール

以下のスケジュールでシステムの開発や機能強化を実施した。
ユーザーの声を聞いて、使い勝手が良くなるように工夫を施した。



システム概要紹介（岩倉市・石垣市）

Education Chat（株式会社ベネッセコーポレーション）

一目で分かるUIの工夫

- ✓ 会話モードやLLM※の選択をアイコンを付けて分かりやすく表示
- ✓ 会話スタイルも分かりやすく（正確/バランス/独創的）で選択できるように用意し、1日あたりの利用回数のカウント表示（50回上限）、利用時の注意喚起の表示を実装

実際の画面



①会話モード選択が可能

②LLM選択が可能

③会話スタイル選択が可能

④利用回数のカウントが表示

⑤利用時の注意喚起の表示

システム概要紹介 (岩倉市・石垣市)

Education Chat (株式会社ベネッセコーポレーション)

プロンプト例のお気に入り登録

- ✓ プロンプト例をクリックすることでユーザーの入力画面にその内容が転記される
- ✓ 特によく使うプロンプトを各教職員がお気に入り登録できる
- ✓ プロンプト例は、組織の管理者が追加・編集・削除できる

実際の画面



- ①お気に入り登録したプロンプトが表示される
- ②プロンプトのお気に入り登録は♡ボタンで分かりやすく実装
- ③プロンプト例の追加が可能

沖縄県石垣市の取組

愛知県岩倉市の取組

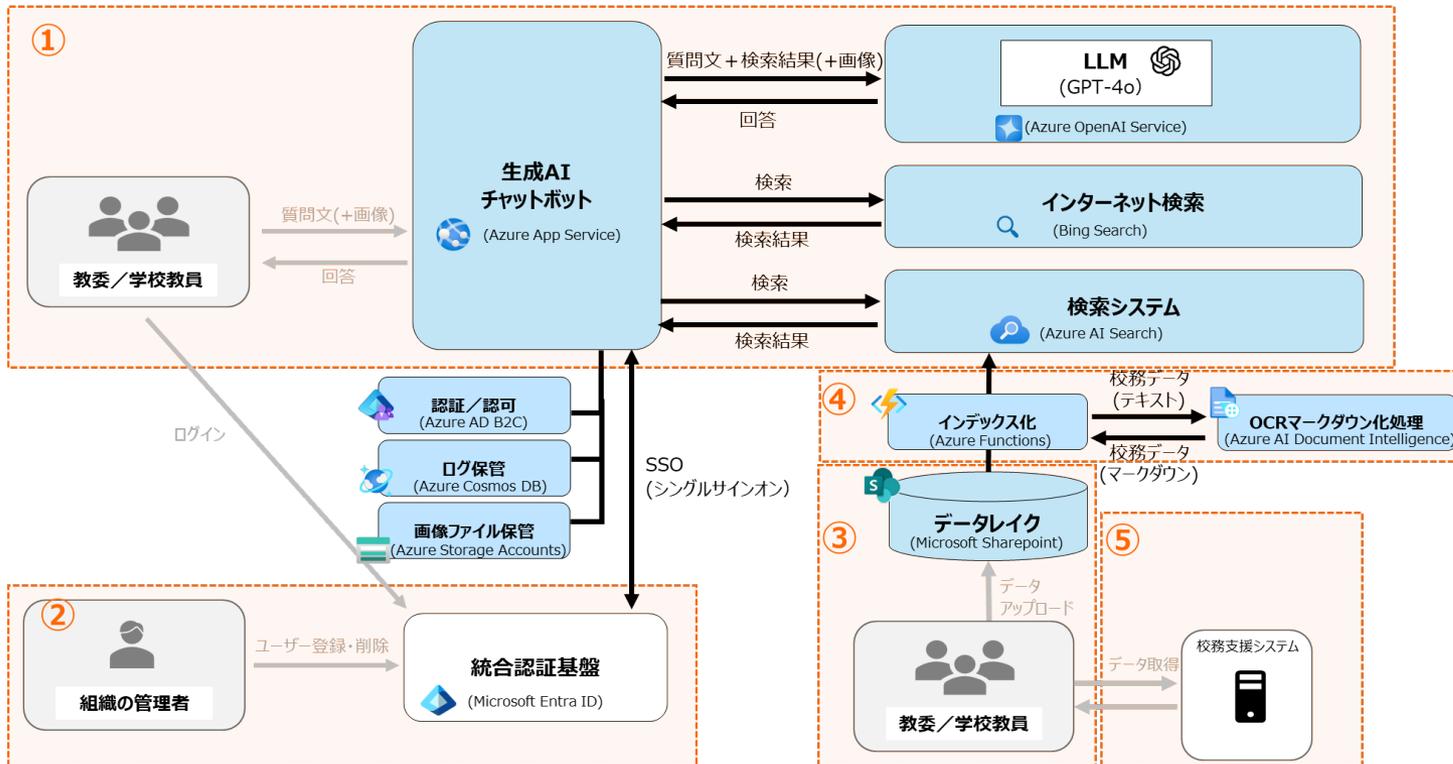
実証地域からの成果報告

Sky株式会社
埼玉県新座市
兵庫県宝塚市

本事業で構築した
システム

システム概要紹介 (新座市・宝塚市)

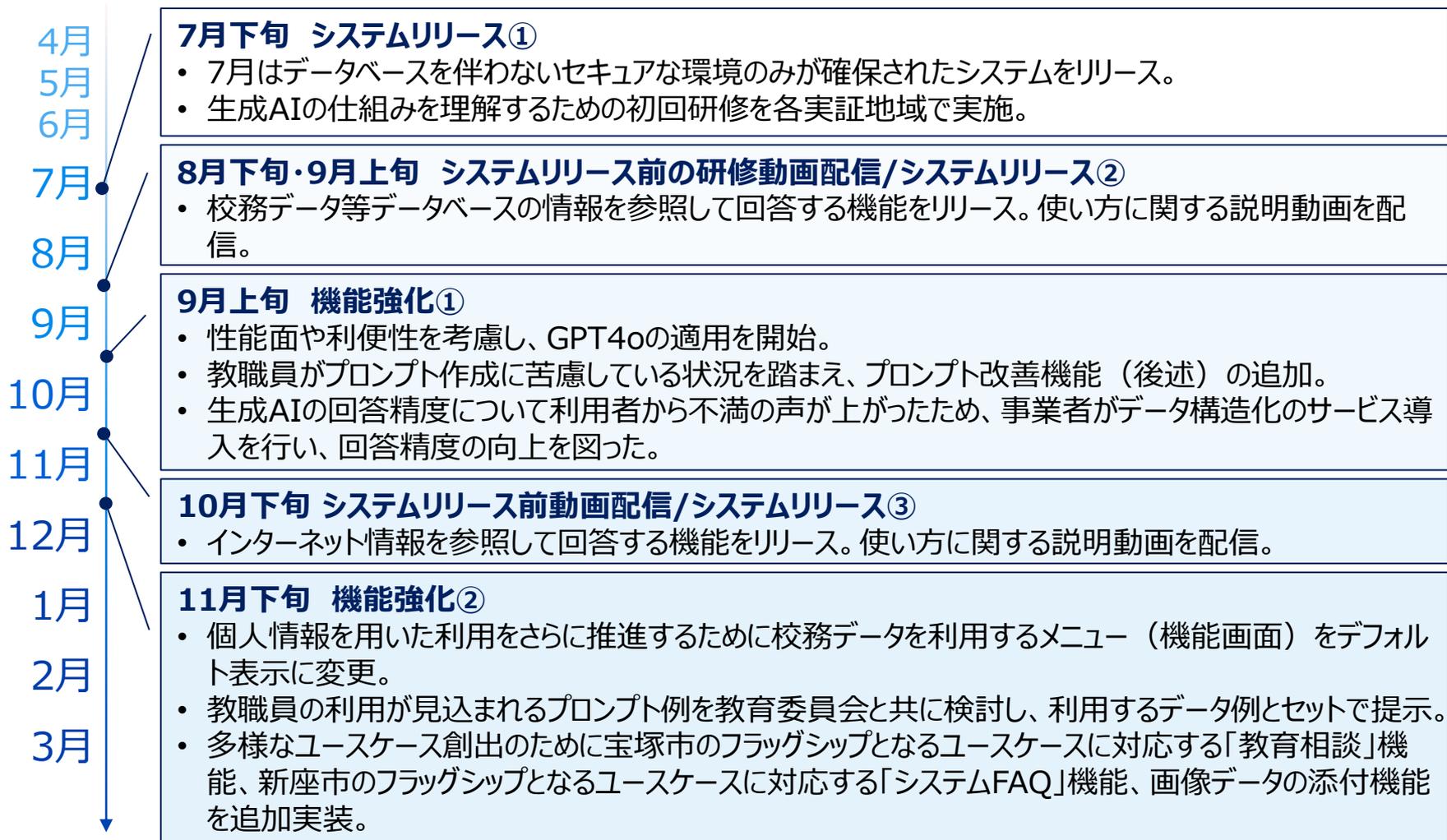
校務支援AI Chat (Sky株式会社)



- ① 利用者の質問に応じてチャットボットアプリケーションはLLMやインターネット、データレイクを検索し、質問文に対する回答を作成。利用者はテキストだけではなく画像を用いた質問を行うことが可能。
- ② ユーザーの登録や削除は組織の管理者権限を保有するユーザーが実施。
- ③ チャットボットアプリケーションが参照するデータレイクへのデータ格納は利用者が任意のタイミングで実施。
- ④ データレイクのデータをチャットボットアプリケーションが参照できる形にするためのインデックス化は日次で実行。その際に表形式など構造に意味を持つデータは、LLMが読取可能な形へ加工。
- ⑤ 校務支援システムのデータは利用者が必要に応じて取得しデータレイクへ格納。

システム開発スケジュール

以下のスケジュールでシステムの開発や機能強化を実施した。
ユーザーの声を聞いて、使い勝手が良くなるように工夫を施した。



システム概要紹介（新座市・宝塚市）

講じた工夫

校務支援AI Chat（Sky株式会社）

システムFAQ機能の実装（新座市）

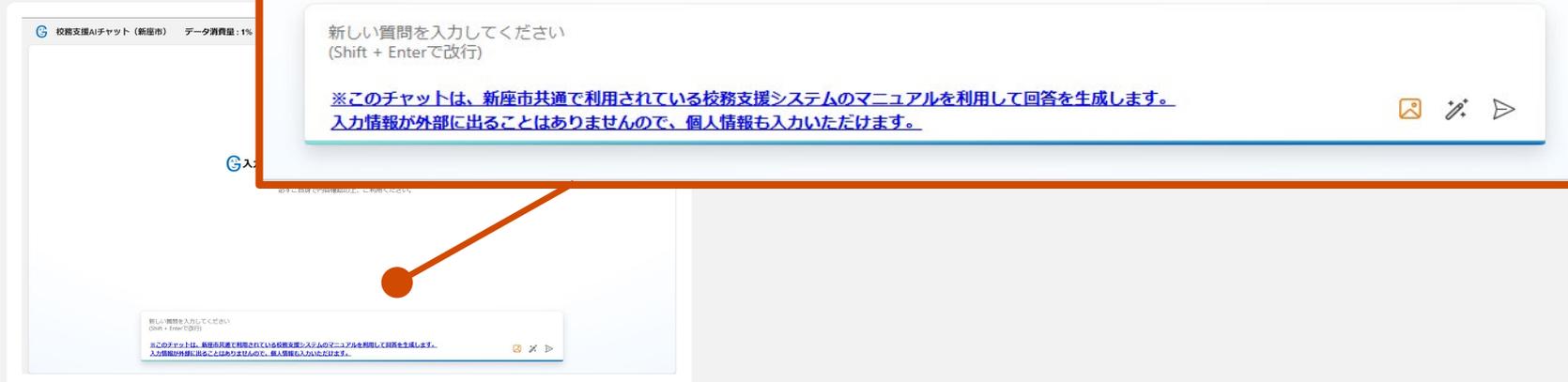
課題

- ✓ 新座市で校務支援システムを利用するにあたり、**教職員間でシステムの習熟度に差がある**

工夫

- ✓ **校務支援システムのマニュアルを学習させたチャットを提供**
- ✓ 単なる検索ではなく、生成AIを校務支援システムの管理者に見立て、会話形式で質問を行うことで、対象のシステムの使い方などを分かり易く提供

実際の画面



校務支援AI Chat（Sky株式会社）

教員サポート機能（青空先生）の実装（宝塚市）

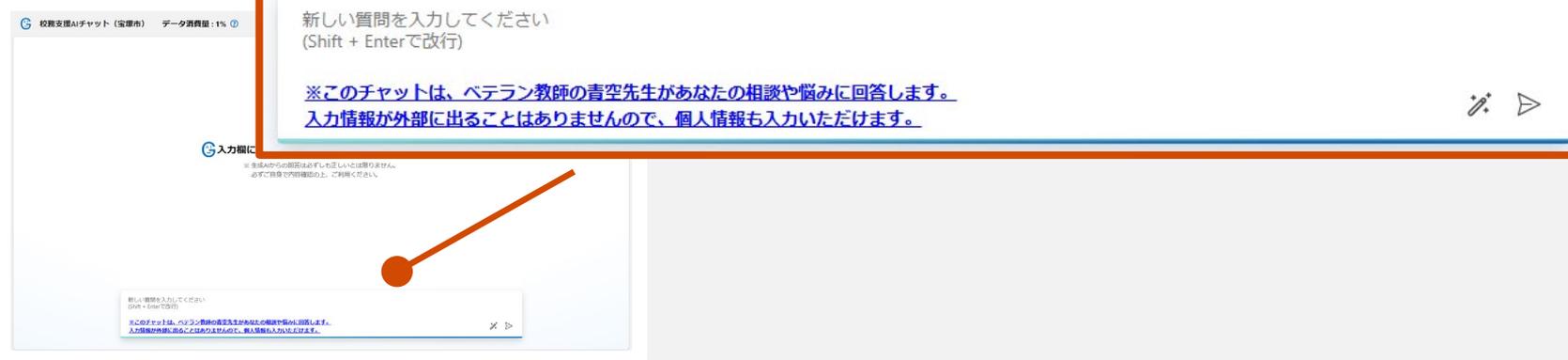
課題

- ✓ 宝塚市では、若い先生方の離職が自治体全体としての課題の一つであった
- ✓ 離職に至るまでのプロセスを分析すると、教育現場における悩みや相談を行うにも、先輩の先生方も忙しく、助言などをもらうタイミングも難しいといった背景があった

工夫

- ✓ 生成AIにベテラン教師という役割を与え、壁打ちをしながら気軽に相談を行えるチャットを提供

実際の画面



システム概要紹介（新座市・宝塚市）

講じた工夫

校務支援AI Chat（Sky株式会社）

プロンプト改善機能の実装

課題

- ✓ 各自治体の教育委員を通じて利用状況の確認や、研修における利用者のコメントの確認を通じて、生成AIチャットに質問を行っても、**期待する回答が返ってこない**

工夫

- ✓ システムとして利用者が**入力した内容**を、生成AIが理解しやすいように**校正する機能**を追加

実際の画面

入力欄に質問を入力して、チャットを始めましょう
このチャットボットはあなたの質問に答えるように構成されています
※ 生成AIからの回答は必ずしも正しいとは限りません。必ずご自身で内容確認の上、ご利用ください。

子どもたちがいじめ被害を持っていたのはどこですか？
振り返りの記載内容をもとに答えてください

###振り返り
今日の校外学習では、たくさんのお話を聞きました。
海にはたくさんのお魚が泳いでいて、おさかなや海の生物が楽しんでいることがわかりました。
どうして、そんなに人間が作ったプラスチックが海に流れるのが不思議でした。
僕はゴミはゴミ箱に捨てて、砂浜のゴミも拾うようにしたいと思います。

改善後の質問

子どもたちがいじめ被害を持っていたのはどこですか？ 振り返りの記載内容をもとに、具体的な疑問点やその背景について詳しく答えてください。また、子どもたちがその疑問を持った理由や、それに対する考えや感想についても説明してください。

###振り返り
今日の校外学習では、たくさんのお話を聞きました。
海にはたくさんのお魚が泳いでいて、おさかなや海の生物が楽しんでいることがわかりました。
どうして、そんなに人間が作ったプラスチックが海に流れるのが不思議でした。
僕はゴミはゴミ箱に捨てて、砂浜のゴミも拾うようにしたいと思います。

入力欄に質問を入力して、チャットを始めましょう
このチャットボットはあなたの質問に答えるように構成されています
※ 生成AIからの回答は必ずしも正しいとは限りません。必ずご自身で内容確認の上、ご利用ください。

子どもたちがいじめ被害を持っていたのはどこですか？ 振り返りの記載内容をもとに、具体的な疑問点やその背景について詳しく答えてください。また、子どもたちがその疑問を持った理由や、それに対する考えや感想についても説明してください。

###振り返り
今日の校外学習では、たくさんのお話を聞きました。
海にはたくさんのお魚が泳いでいて、おさかなや海の生物が楽しんでいることがわかりました。
どうして、そんなに人間が作ったプラスチックが海に流れるのが不思議でした。
僕はゴミはゴミ箱に捨てて、砂浜のゴミも拾うようにしたいと思います。

埼玉県新座市の取組

兵庫県宝塚市の取組

4

事業全体の成果報告

15:20-15:30

PwCコンサルティング合同会社

事業全体を通じた成果

1

業務負担軽減 等に資する 好事例の創出

- ✓ 特にアンケート分析や文書作成において、時間削減や業務の効率化に資する好事例が数多く創出された。たとえば文書作成では、所見の素案作成やテスト案作成、報告書案の作成など多くの教職員が利用できる事例が創出された。
- ✓ システム利用の結果、数日単位での時間削減や、文章表現の幅が広がり業務の品質の向上につながるなど、効果が確認された。

2

教職員の 利用促進の ポイントの 明確化

- ✓ 生成AIに親しみのない教職員に対しても、生成AIに慣れ親しむところから段階を踏んで研修を実施することで、限られた期間の中でも利活用シーンのアイデア創出や、実際の利活用にまでつなげられることが確認できた。
- ✓ 研修以外にも、ユーザビリティを高めるための工夫を施したシステムの開発や、教育委員会・各校での自発的な勉強会の実施、職員室での口コミでの伝播等により、さらなる利用促進につながることを確認できた。
- ✓ 今後に向けては、具体的な利活用事例の展開がさらなる利用促進につながるニーズとして確認された。

①業務負担軽減等に資する好事例の創出例（1/3）

- ✓ 学校評価アンケートや児童質問紙などのアンケート分析に生成AIを用いることで、時間の削減に加えて、網羅的・客観的に分析を実施できたという声があがった。

学校風土調査アンケート結果の分析

1-2時間→20分
に削減

- ✓ 岩倉市では学校の安全性や人間関係の状態を測るために学校風土調査を毎学期実施しており、調査結果の分析を行うために、アンケート結果をファイル添付し、「学校にどのような課題があり、その課題を解消するためにはどのような手立てを講じると良いか」生成AIに聞きました。

Q.なぜこの業務で生成AIを活用しようと思いましたか？

A.アンケートの結果を分析して傾向を読み取ることが難しく、もともとは自身の観点でアンケート分析を実施していましたが、自身の分析結果にも自信が持てなかったので生成AIを利用してみようと思いました。

Q.実施してみてどのような効果が実感できましたか？

A.これまでは調査結果を見て傾向を考えるために1-2時間程度を要することもありましたが、生成AIを使うことで添削などの時間も含めても20分程度に削減されました。30項目以上のアンケート結果をすべて見てくれるため分析が網羅的で分かりやすかったです。対応策のアイデアを多く出してくれたこと、自分で思いつかないアイデアを出してくれたことが良かったです。

Q.事前に実施した準備はありますか？

A.アンケートの5段階評価を100点満点にする評価表をExcelシートで作成しました。作成したExcelファイルをファイル添付機能にて生成AIに読み込ませて、学校風土に関する課題とそれに対する手立ての質問を入力しました。



実施した教員

他の業務でもたくさん生成AIの利用を試しましたが、アンケートは分析を行う時間が非常に効率化されますので、是非実施してみてください。学校評価アンケートなどの分析でも利用できると思います。日本語の最終チェックは必ず教職員で実施する必要がありますが、分析のサポートには有用です！

①業務負担軽減等に資する好事例の創出例 (2/3)

学校風土調査アンケート結果の分析

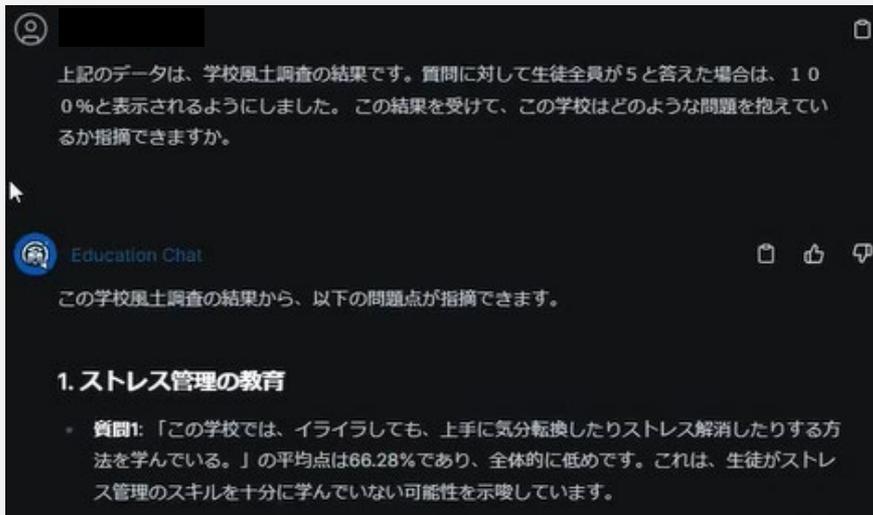
◆作成したインプットデータ

項目ごとに5段階評価を100%表記にしたExcelデータを作成

項目	質問	全校
心の教育	Q1 この学校では、イライラしても、上手に気分転換したりストレス解消したりする方法を学んでいる。	66.8
授業	Q2 この学校の生徒は、授業中何をすればいいか、はっきりと教えてもらっている。	77.0
決まり	Q3 決まりをやぶった時の結果はだれでも同じで納得がいくものだ。	70.1
子どもと先生	Q4 この学校の先生は、私がうまくできた時に認めてくれる。	79.8
安全	Q5 この学校の生徒は、岩中において安全だと感じている。	77.8
子どもと集団	Q6 この学校は、男女とも、同じように大事にされている。	74.7
子どもと学校	Q7 私はこの学校が好きだ。	74.2
授業	Q8 この学校では、授業に集中することができている。	72.2
心の教育	Q9 この学校の先生は、だめなことはだめとはっきり教えてくれる。	80.9
決まり	Q10 この学校の決まりは納得のいくものだ。	72.7
地域・保護者	Q11 この学校の保護者は、生徒の様子について先生と話している。	76.1
子どもと先生	Q12 この学校の先生は、私たちに新しい挑戦をさせたいと思っている。	75.9
心の教育	Q13 この学校では、けんかやいじめなどの問題を解決する方法を学んでいる。	71.0
子ども同士	Q14 この学校の生徒は、お互いのことを尊重している。	75.2
授業	Q15 授業では、クラスの友だちの間で話し合い活動をよく行っている。	83.4
地域・保護者	Q16 この学校の保護者と先生の関係はいい。	75.4
子ども同士	Q17 クラスみんなで協力して何かをやりとげ、うれしかったことがある。	84.8
授業	Q18 この学校の授業は楽しい。	75.1
子どもと集団	Q19 この学校の生徒は、クラスの中で、だれでも同じように話したり聞いたりする機会がある。	77.4
子どもと集団	Q20 この学校では、何かを決めたり選んだりするとき、生徒が意見を言う機会がある。	82.0
子どもと先生	Q21 この学校の先生は、私たちが困っているときに助けてくれる。	79.8
安全	Q22 この学校の先生は、いじめなどをしっかりと注意してくれる。	77.6
子どもと先生	Q23 私の担任の先生は、私に自信をもたせてくれる。	76.7
子どもと先生	Q24 この学校の生徒と先生の関係はいい。	79.0
子どもと学校	Q25 この学校では、楽しい活動がたくさんある。	81.3
心の教育	Q26 この学校では、他の人の気持ちを理解するための方法を学んでいる。	77.7
子どもと学校	Q27 この学校の生徒は、ここでやるべきことを精いっぱいやっている。	78.6
子どもと集団	Q28 この学校の生徒は、一人一人のちがいを大事にされている。	79.0
決まり	Q29 この学校の決まりは、誰に対しても公平だ。	75.1
子どもと学校	Q30 この学校で、私はうまくやれていると感じている。	75.5
物理的環境	Q31 この学校はいつもきれいで片付いている。	68.3
子ども同士	Q32 この学校の生徒は、学校の活動を友だちと一緒にすることを楽しんでいる。	83.5

◆実際のプロンプトと回答イメージ

ファイルを添付し、学校の問題の分析を生成AIに依頼



①業務負担軽減等に資する好事例の創出例 (3/3)

- ✓ 文章作成の事例では、時間削減に加えて内容の網羅性が確認できる、適切な文章表現にできる、といった品質向上の効果が多くあげられた。

所見の素案作成

5日→2-3日
に削減

- ✓ 特別支援学級の担任をしており、ノートにメモしている生徒の様子（学習の記録や授業態度）を単語レベルでプロンプトに入力して、該当生徒に関する所見の素案の文章を生成AIで作成しました。

Q.なぜこの業務で生成AIを活用しようと思いましたか？

A.生徒一人一人に応じた、所見の言葉のレポーターを作成することに苦労しており、在校時間が増えていたため、生成AIを活用してみようと思いました。特に言い回しや表現のレポーターが増えると良いと思って使ってみました。

Q.実施してみてどのような効果が実感できましたか？

A.これまでは何日間か書いては考えることを繰り返して、10人程の所見を検討して作成し終わるまでに5日間程度要していましたが、生成AIを利用することで2-3日程度に削減しました。生成AIを利用することで、誰かに相談したかのような感覚を得ることができ、作成した所見の内容に自信を持つことができました。また、生成AIはデータを参照することで、客観的な評価ができるようになりました。

Q.事前に実施した準備はありますか？

A.データの準備等は実施しておらず、自身のノートに記載している児童の様子などをプロンプトに入力することで各児童に沿った回答を受領することができました。



実施した教員

元となる情報を入れなければ期待する回答には近づきませんが、うまく言葉を紡いでくれるので**自分の表現の幅が広がります**。生成AIに相談して作った言葉には前よりも自信が持てるようになりました。全部生成AIに任せることは良くないですが、**不安なところや迷ったところで使うことが良い**と思います！

事業により得られた示唆

本事業の成果や課題を踏まえ、教育委員会で個人情報等を扱うことができる環境における生成AIの利活用を行う際に合わせて実施すると効果的と考えられる事項を①環境整備②利活用推進の2点で整理した。

①環境整備

課題

知識データの収集方法

- データを別システムから抽出して格納する作業、生成AIが読み取れる**データへの変換等の作業が教職員の負担**になった
- 石垣市/岩倉市では月次、新座市/宝塚市では日次でのデータレイクからの情報取込であったことから**リアルタイムでのデータ参照ができなかった**
- 抽出元となる校務支援システムへのデータ蓄積量が学校によって異なり、**データ蓄積が少ない場合には回答精度が高まらなかった**

情報の正確性

- ユーザーが複数ファイルを参照する指示をしていても一部ファイルのみしか参照しないなど、**情報の正確性に関する課題**がある

課題解決に向けた方策・示唆

- 教育現場における**データ標準化の推進やデータ様式**を事前に定めるなどの工夫を実施する必要がある
- **複数システムのデータ連携**など情報のリアルタイム性を重視する工夫が必要である
- 必要なデータの選定と情報の蓄積、データ整形など、**データを活用するための事前準備を実施**する
- 正確性の担保は生成AIの役割ではないが、**プロンプトの品質向上やデータクレンジング**（画像データ等本事業の生成AIにとってノイズとなるデータの削除、ファイル名のつけ直しや検索精度向上のための種別・形式などのメタデータの付与）による対策には一定の効果あり

② 利活用推進

課題

生成AI に対する 理解

- 生成AIの「何でもできる」という特性が逆に「何をすればいいのかわからない」という混乱を引き起こし、利用のハードルが高まった
- 利用者全員に対して共通の内容の研修を行ったため、**理解度やその後の利活用率に差が生まれた**

回答の 精度向 上

- 生成AIの特徴である、複数回の対話の中で求める出力に近づけていくような利用方法が十分に確立できなかった
- **適切なプロンプトの入力ができていないため**に回答精度が低いケースがあった

心理的 障壁

- 新たな技術である生成AIの利用について、**教職員に不安が生じた**（本当に利用して良いのか、他の学校ではどのように利用しているのか、など）
- **どのような方法であれば生成AIを校務で利用して良いか教職員で判断がつかないという課題がある**

課題解決に向けた方策・示唆

- **利用目的を具体的に絞り込み、ユースケースを明確化**することで利用対象への迷いが低減される
- **理解度等別に生成AIに関する情報を共有**する研修を実施する必要がある

- **生成AIと対話を続けることで求める回答に近づくことを浸透**させて諦めずに利用してもらう必要がある
- **プロンプト例の提示に加え、プロンプト作成方法の研修や人的サポート**を行うことが有用

- 学校や地域の垣根を超えた、**利用者同士が繋がる交流の場や各校に取組を展開するキーパーソンを配置**することにより、利用意識の更なる醸成を図る必要がある
- **校務で生成AIを活用可能な対象領域および留意事項を周知**することが有用

5

質疑応答

15:30-15:55

質疑応答

質問がある方はQ&A欄にて質問のご記入をお願いします。

6

講評/閉会挨拶

15:55-16:00

国立大学法人奈良教育大学
大学院教育学研究科准教授
小崎誠二氏